

# お わ り に

平成 23 年 3 月 22 日に「蒲郡市子ども・若者支援ネットワーク協議会」が設立されました。これは、平成 22 年 4 月に施行された「子ども・若者育成支援推進法」によるところの「地域協議会」であります。愛知県下では、豊橋市に次ぐ二番目の設置となりました。この地域協議会は、これまで困難を抱える子ども・若者に個々に対応していた関係機関が、横の連携をとってより効果的な支援をめざすものであります。

これまで、2 か月に 1 回の割で関係機関の実務担当者による実務者会議を開いて、まず、個々の関係機関が困難を抱える子ども・若者に対してどんな支援ができるのか、どんな問題を抱えているのか、相互に認識を深める機会を積み上げています。

内閣府では、11 月を「子ども・若者育成支援強調月間」として、これからますます心配されるニートやひきこもりの子ども・若者への支援を強化しようとしています。「蒲郡市子ども・若者支援ネットワーク協議会」では、強調月間に合わせて、「子ども・若者の自立支援のために」と題した講演会を開きました。

この講演の中で、不登校している女子中学生の言葉が紹介されました。

「私は、学校という一本のロープの先を握っている。もう一方の先を握っているのは（顔は見えないけど）私の先生。もし先生が『あなたに会いたい』と言って、ロープをぐいぐいと引っ張ったら、私は怖くなってロープを放してしまうと思う。だからそれはやめてほしい。でも、私の「会いたくない」という言葉を鵜呑みにして、先生の方からロープを放してしまったら、私の手にはロープの先しか残らない。だらんと垂れ下がったロープの先には、もう先生はいない。それも悲しい・・・。」

支援を求める子ども・若者の心境を端的に表現したものであります。接する者の力量を高めなくてはならないことはもちろん、支援を求める者の気持ちに寄り添うことのむずかしさを改めて認識しました。

ところで、震災が起こるたびに、地域の人と人の結びつきの大切さが語られます。蒲郡市における青少年健全育成推進事業とりわけ地域ふれあい活動の方向は、確かなものであると確信しています。地域の人々のつながりをつくり、より強いものにするふれあいの活動を年に 1 回の行事にとどまらせず、子どもの体験を増やす、地域の伝統を伝える、地域の環境を守るなどの様々な活動として発展させ、実施している地域が増えてきています。ご尽力いただいている皆さまに、事務局として改めて敬意と感謝を申し上げます。

<表紙のマーク>

平成 22 年度一般公募により決定した蒲郡市青少年健全育成地域活動のシンボルマークです。

水色は蒲郡の美しい海、オレンジは若さ明るさをイメージし、「地域の人々の手で明るく青少年を守ろう」のコンセプトで作成されています。

発行日	平成 24 年 2 月 1 日
発行	蒲郡市教育委員会
編集・印刷	蒲郡市青少年センター
〒443-8601 愛知県蒲郡市旭町 17-1	
電話 0533-66-1168	
製本	親和原田プリント(株)